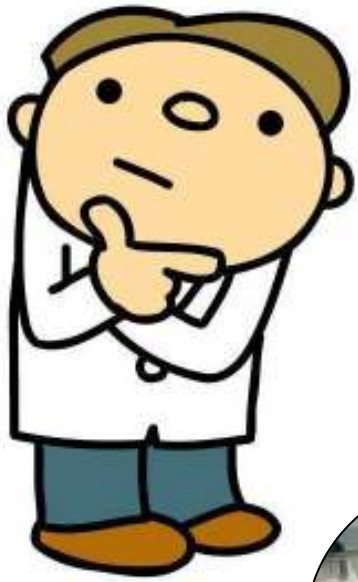




この項では、排便や入浴の訓練を紹介します。前述しましたが、排便や排尿機能が障害される場合が多いので、排便日を決め、下剤と座薬で排泄を促します。トイレや浴室の形状も足を投げ出して座れるような特殊なものが必要とする場合が多いです。排泄や入浴訓練は、最も重要かつ厳しい訓練です。

理学療法訓練では、筋力トレーニングも進み、動かなくなった下肢の機能を代償するため鍛えられた筋肉は、健常者を上回る場合すらあります。筋肉を利用していろいろなパターンの基本動作を訓練します。自動車の運転ができるような訓練も開始されます。自動車運転ができることで、行動範囲が飛躍的に広がります。**スポーツ訓練**では、屋外での車いす操作や競技性の高いバスケットボールを訓練に取り入れます。ここまで訓練が進みますと社会復帰まであと一歩となります。



排便動作訓練：レザートイレ（高床式トイレ）や洋式トイレで排便を行います。



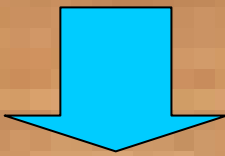
浴槽には腹這いになって出入りします。



このように色々な道具を用い、時には寝転びながら体を洗います。



STEP5 トイレに入る



STEP6 お風呂に入る



座薬挿入器



清拭具（お尻拭き具）



やわらか便座

座薬を挿入するための自助具や褥瘡予防のための便座マットです。このようにいろいろな道具を使用し排便します。



倒れそうで、怖いよ～～！！

側方移乗動作訓練：バランスをとりながら、両手で支えてお尻を移動します。かなりの筋力が必要となります。このように色々な方法でベッドに移乗できるよう訓練します。



車いすでセンターの庭を走ったりして、体力向上や屋外車いす操作能力を高めます。

車いすに乗ってツインバスケットボールをします。一般と違うのは、通常のゴールと低いゴールの二つあるところです。障害の程度に合わせた役割があり、多くの人が参加し楽しんでします。

自動車運転に関する訓練を行います。足が不自由な方が運転できるよう手でアクセル・ブレーキが操作できる装置がありますので、それを操作する練習を行います。ここでは、シュミレーターという機械を使い練習します



手動装置：足の代わりに手でアクセル・ブレーキの操作が行なえます。



車いすから自動車に乗り移ります。自動車の運転が可能になることにより行動範囲が飛躍的に広がります。

・自動車訓練・



車に乗り込むと次は、車いすの積み込みを行ないます。手首を車いすに固定して腕の力で持ち上げます。10 数キロの車いすを自動車に積み込む作業は、かなりの重労働です。